

令和元年度職員自己評価結果

副園長クラスにおいては、全体として法人方針を理解しそれを基に部下を指導していく立場であるが、そこに自信の無さが見受けられる。企画力やコミュニケーション力等の意識は高いのでそれらを積極的に使って自信を深め、そのうえで指導力や管理力にもそれが及んでいけるようにしたい。主幹保育教諭等主幹クラスにおいては、教育保育実務、事務、厨房等各業務における意識は向上してきており、教育保育を中心とした業務間でのまた1園での協調・理解・合同意識もさらに浸透してきていることがうかがえる。管理力や指導力に関しての数値が低い職員も見受けられるため、今後は更なる自信を持つことが必要と思われる。勤続5年以上のこのクラスでは、中堅職員としての意識が向上し、全体的に入職5年未満の職員よりは意識が高いことがうかがえる。項目別では責任感・管理力・指導力・積極性の割合が向上してきており、特に正規職員においてはその値が高い。半面法人方針の理解や忠誠心などの割合が低くこれらに関する丁寧な指導が必要だと思われる。入職5年以下のこのクラスは、最近の保育士不足を反映して特に人数割合が高くなっており、なるべく早く当法人の方針に馴染んでほしいが、入職以来日が浅いため、企画力・管理力・指導力に関しては全体的に低評価であるが責任感・倫理規律感等においては総じて3評価以上が70%を超える結果となっており今後各方面に力を発揮してくると期待される。